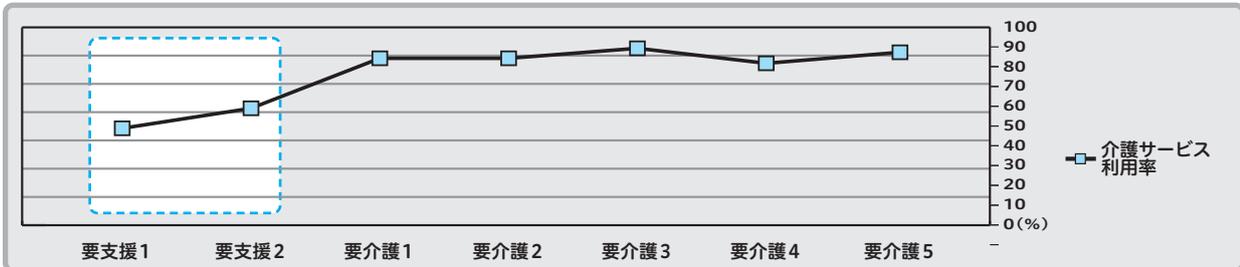


介護のいまをろう④

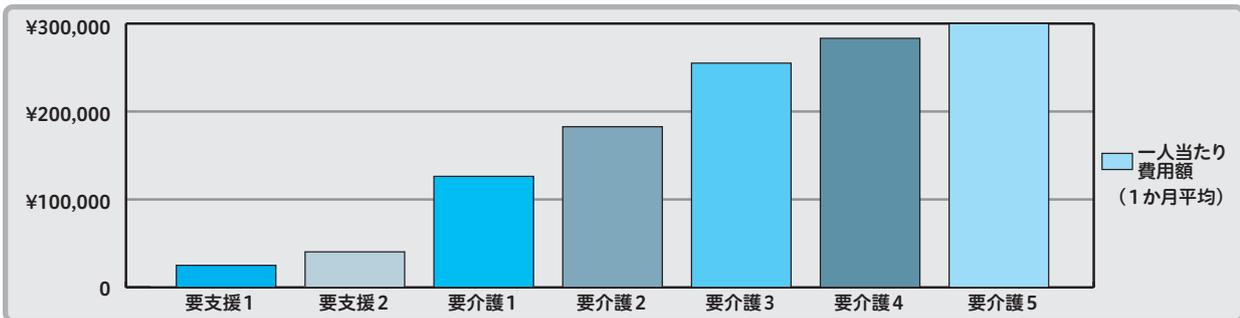
高齢者が住み慣れた家庭や地域で安心して、元気に、暮らし続けることができるまちづくりを進めるために

○住み慣れた家庭で安心して暮らし続けるには？



上のグラフを見ると、要介護認定者は90%前後と高い割合でサービスを利用していますが、要支援認定者(部分)は50~64%と要介護認定者に比べると低い割合であることがわかります。要介護に認定された人の多くが、訪問介護や通所介護のサービスを利用していますが、要支援の認定を受けた人は、福祉用具(ベッドや押し車など)や住宅改修(手すり、段差解消)のサービスのみを利用し、住み慣れた自宅で毎日の生活ができている人が多いです。

○要支援と要介護では自己負担費用もこんなに違います！



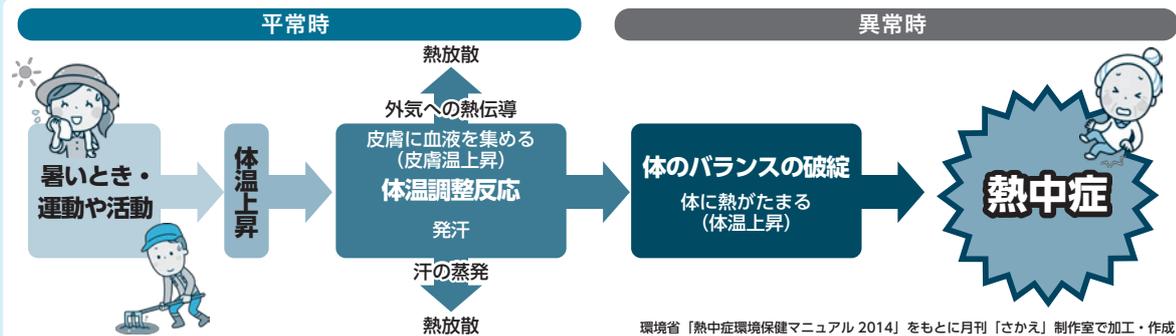
介護度が高くなると、

要支援1	27,890円	→	要介護1	129,201円	と	約4.6倍
要支援2	43,970円	→	要介護1	129,201円	と	約2.9倍

介護予防に取り組み、要支援の人が多くなるようにできれば…費用の負担も多くならずに済みます。

水分補給と熱中症予防その2

熱中症は、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体内の調整機能が壊れた場合に起こります。どのような経過で起こるのかは、下図のとおりです。



このような症状は自覚症状がない状態で進む場合もありますので、予防に努める必要があります。「熱中症予防のための水分補給」について6月号に掲載していますので、確認してください。